小松市立学校PTA連合会
PTAだより
第97号
次世代を担う子どもたちの豊かな心を育む環境を　～時代に即したPTAを目指して～

＜市P連事務局＞
〒923-0927 小松市西町25番地
小松市立芦城小学校内
TEL (0761)23-2478
FAX (0761)23-0902
E-mail pta@kec.hakusan.ed.jp
ホームページ https://komatsu-pta.jp/
Face Book www.facebook.com/kcpta

令和4年3月1日発行
市P連広報委員会

豊かな未来を創る「志」と「知」

小松市教育長　**石黒　和彦**

1961年に人類初の宇宙飛行士ガガーリンが「地球は青かった」と世界の人々にメッセージを送り、1969年には人類が初めて月面に立つなど1960年代の世界は工業化が進展し、科学が著しく発展する時代でした。以来、科学技術は発展し、社会の様相も大きく変化し続けています。しかし、その一方で、地球環境の劣化、エネルギー問題など地球規模での課題が顕在化していることも事実です。また、この2年間、コロナ禍により、私たちはVUCAと呼ばれる不確実で複雑な時代を身をもって経験しています。今後も社会はどんどん複雑さを増すと予測されており、そのような状況に対応するには、新しい情報を常に収集する「主体性」と「対話的」に問題解決を行っていく姿勢、そして、ものごとの本質を見抜く「深く考える力」が必要だということです。

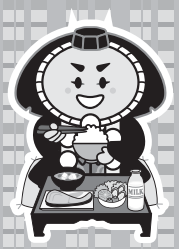
2020年度から全面実施された学習指導要領には、「生きる力　学びの、その先へ」という表題がついています。永い間、「知識・技能の習得」を重視してきた学校教育が、学んだことを自在に活用し、人生や社会に生かそうとする力を育む教育にシフトしていることが解ります。そして、そのような教育ビジョンを実現する手立ての一つが“GIGAスクール”です。新しい学習指導要領の願い実現のために、タブレットを黒板や鉛筆の“置き換え”で済ませるのではなく、デジタルだからこそできる授業に切り替えていくことが重要です。

また、世界中でサステナビリティー（持続可能性）が重視され、個人の幸せと社会全体の幸福の両立を実現するために、一人一人が社会のために何をすべきか考え、実行することが求められています。

20年後、30年後の社会がどうなっていくか、また、人々の価値観がどう変化していくか予想がつかない中で、それに対応できる教育が求められています。学校教育、社会教育、家庭教育に携わる大人がそれぞれの教育の在り方についてしっかりと考え、連携していくことがとても重要なことだと思います。その結果として、子どもたちが豊かな未来を創る「志」と「知」を身につけていくことができると思うからです。

早寝早起き朝ごはん運動

大人が変われば子どもも変わる



日時／令和３年10月31日（日）13:00～
場所／こまつ芸術劇場うららの大ホール

未来の宝育成委員会　委員長　**金子　哲也**

一旦は収まった新型コロナウイルスの感染拡大ですが、新たな変異株の出現で外出を控える風潮が依然として続くこととなり、運動不足、無気力、スクリーンタイム（テレビ・ゲーム・スマホ）の増加など、子どもたちの心と体にもたらされる悪影響の長期化が心配されます。生活リズムを整え、子どもたちを健全に育成するための啓発活動として行っているこの「早寝早起き朝ごはん運動」こそ、時代に即したＰＴＡ活動として一層の推進を図るべく取り組んでまいりました。

夏休みに小学校低学年を対象に「こまつっ子げんきアップカード」、保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん運動パンフレット」を作成し、生活改善の啓発活動を行いました。また同時に「わが家の標語」「わたしの朝ごはん」「ポスター・絵画」「エピソード・作文」の募集も行い、3,163名の子どもたちから3,743点の応募がありました。早寝早起き朝ごはん小松市民大会では、その中から選んだ23点の優秀作品を表彰させていただきました。また、時代に即した活動の取り組みとして今年新たに、これら23点の全作品を掲載した環境に優しい紙製のクリアファイルを当日の参加者と作品の応募者全員に配布させていただきました。プラスチック製品による海洋汚染が深刻化している今、この機会に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）について、家庭や学校においてお話する機会につながることを願ったものです。子どもは大人（社会）の鏡です。我々大人もＰＴＡ活動を通して、子どもと共に学び成長する気持ちを持ち続けてまいりたいものです。

最後になりますが、人との交流が希薄になっている今だからこそ、普段から家庭・学校・地域全体の連携で子どもを育てていくことが必要です。子どもたちの成長に欠かせない“食”と“睡眠”の大切さを啓発する「早寝早起き朝ごはん運動」が今後も更に地域全体に浸透、発展していくことを願っています。今年もご支援、ご協力いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

◆『わが家の標語』部門

安宅中学校１年　山根　萌楓さん・芦城小学校　４年　清水　楓さん
国府中学校１年　能登明日香さん・向本折小学校　３年　飴山　愛來さん
今江小学校５年　白田　優衣さん・松東みどり学園３年　橘　咲花さん

◆『わたしの朝ごはん』部門

芦城中学校２年　朝井まひわさん・月津小学校４年　村井　心結さん
松陽中学校２年　大塚　健司さん・稚松小学校３年　國廣　輝さん
中海小学校５年　塚本　悠太さん

◆『ポスター・絵画』部門

南部中学校　１年　山藤　綾乃さん・符津小学校２年　笠間衣桜怜さん
向本折小学校５年　武田　千愛さん・符津小学校１年　永井　美昊さん
安宅小学校　３年　増田　悠乃さん・今江小学校１年　井上　佳星さん
稚松小学校　２年　鈴　葵羽さん

◆『エピソード・作文』部門

南部中学校２年　脇坂祐衣恵さん・第一小学校３年　青木龍之介さん
安宅小学校６年　林　勇太朗さん・串小学校　１年　竹内　柚希さん
苗代小学校４年　西野　愛結さん

2022 早寝早起き朝ごはんCALENDAR

１月～６月　　７月～12月

入賞された内容が2022年のカレンダーになりました！

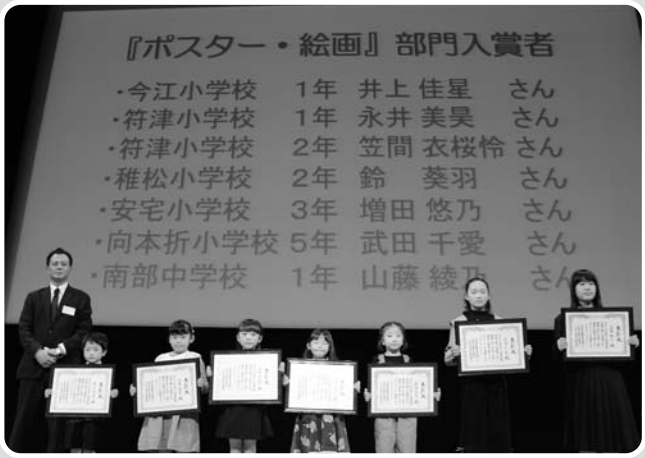
◆オープニング　小松市立板津中学校吹奏楽部
◆会長挨拶
◆来賓祝辞
◆「早寝早起き朝ごはん運動優秀作品」表彰式

小松市立板津中学校吹奏楽部

受賞された皆さん　おめでとうございます！

『わが家の標語』部門入賞者

『わたしの朝ごはん』部門入賞者



『ポスター・絵画』部門入賞者

『エピソード・作文』部門入賞者

石川県PTA地区別研究指定発表会
第64回小松市PTA研究大会

開催日：令和３年10月31日（日）　場所：こまつ芸術劇場うららの大ホール

研究大会に先立ち、ＰＴＡ活動に献身的に取り組まれてこられた功労者の方々をお招きし、小松市教育委員会表彰状授与式及び小松市立学校ＰＴＡ連合会会長感謝状贈呈式が行われました。

式典後、小松市出身でコミュニケーション リアン 代表である松下由樹さんが『今だからこそ、安心安全が感じられる親子関係を作ろう』というテーマで講演を行い、その後研究大会が開催されました。

犬丸小学校校下育友会、荒屋小学校育友会、南部中学校育友会の順に発表が進められましたが、どの学校も相当な準備をしてきたことが窺い知れる内容であるとともに、発表後の各校の保護者の皆さんのホッとした安堵の表情が印象的でした。発表校の皆さま、お疲れさまでした。

小松市教育委員会表彰状 受賞者の皆さん

小松市立学校ＰＴＡ連合会会長感謝状
受賞者の皆さん

◆小松市教育委員会表彰状

中井 泰孝 様・打田 圭寛 様・中森 健文 様・中田 一基 様

◆小松市立学校ＰＴＡ連合会会長感謝状

中井 泰孝 様・前川 弘子 様

犬丸小学校

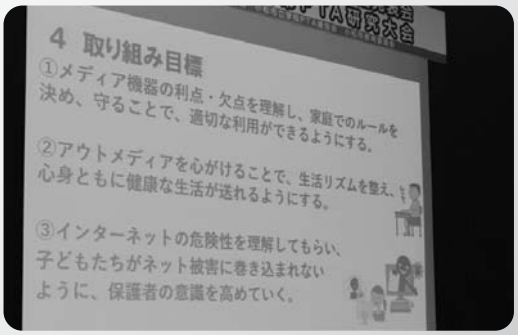
“ 研究大会での取り組み ”

犬丸小学校下育友会 会長　吉田　崇

犬丸小学校下育友会では、家庭と学校が連携したアウトメディアへの取り組みをテーマに活動をしました。今やメディア機器が生活に欠かせないものになり、大人だけではなく児童の生活の中でも触れる時間が多くなっています。そんな中でメディア機器を排除するのではなく、ルールを決め、より適切に利用できるようにしていきたいと考え、取り組みました。

2020年から活動していく中で、新型コロナウイルス感染症の影響により家での時間が増え、ますますメディア機器の使用時間が増えていますが、学校保健委員会での講義や家庭での話し合いなどにより、児童と保護者双方の意識に変化が生じ、各家庭でのメディア機器の使用におけるルールも定着してきました。

今後もメディア機器に縛られず、人と人とのつながりを大切にできるよう児童をサポートしていきます。



荒屋小学校

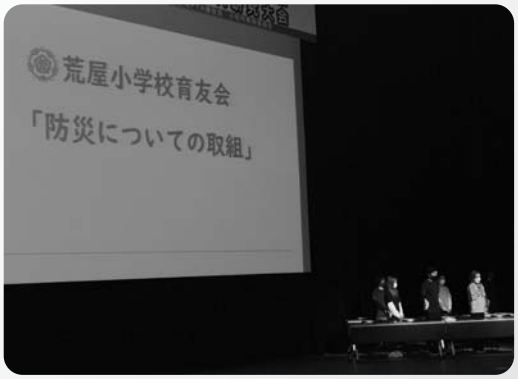
“ 研究大会について ”

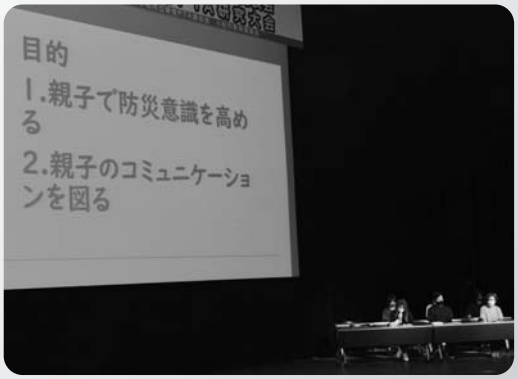
荒屋小学校育友会 会長　米森　美来

荒屋小学校育友会は『ぼくたちわたしたちの防災』～親子のコミュニケーションをはかり、防災意識を高めよう～と題し、新型コロナウイルスの流行していた令和２年４月から準備を開始しました。

しかしながら休校措置の為、前半はほぼＰＴＡ活動ができませんでした。秋頃から感染対策を行い役員会で話し合いを行う事から徐々に活動を開始しました。内容としては、昔の八丁川の水害の話を地元住民の方にお聞きし、育友会を代表して会長である私が避難訓練に参加しました。その時に金沢大学の青木准教授も立ち会っており、改善点などを指摘されました。それを踏まえて役員会で話し合い、防災アンケートを実施しました。アンケートの結果に基づき、家庭団欒の場が確保できる冬休みに、ハザードマップの活用と避難方法や連絡先一覧を作成してもらう宿題を出しました。
宿題を出すことにより、家族でコミュニケーションを図りながら防災意識も高まったと沢山のお声をいただきました。

いつ災害が起こるか誰にもわかりません。もしあの時『ああしておけばよかった』などの後悔をする人が一人でも減ってくれたらと思います。



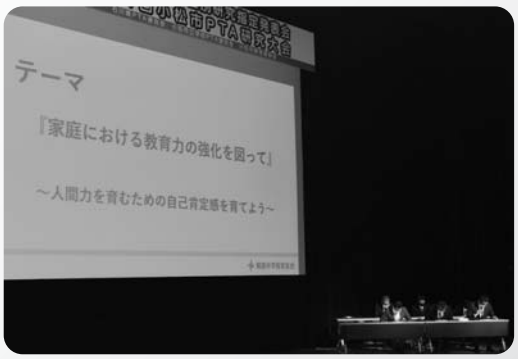


南部中学校

“ 研究大会発表を終えて ”

南部中学校育友会 会長　酒井　基樹

令和３年度の研究大会発表を終えて、改めて思ったことはコロナ禍による影響でとにかく大変だったことです。研究テーマである“『家庭における教育力の強化を図って』～人間力を育むための自己肯定感を育てよう～”を決めた時期がコロナ禍前であり、研究テーマに沿った取り組みで講師を招いての講演会や、親子で一緒に授業を受けるなどを計画していました。しかし、実際には計画どおりにはいかず、その代わりを考え実施しました。自己肯定感についての保護者や生徒向けのアンケート調査を行い、結果をまとめ、考察や検証を行いました。皆が慣れていない作業ではありましたが、全員が協力し良い発表ができたと思います。最後に、研究大会発表に携わっていただいた市Ｐ連の皆さまと一緒に発表に取り組んでくれた育友会メンバーに感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。



輝く心の学び委員会

A グループ

金田　史恵（芦城小）　池田　沢美（犬丸小）
髙田　幸子（今江小）　浅井　尚子（符津小）
越田　祐貴（粟津小）　秋野かすみ（木場小）
中西　優子（国府小）

B グループ

圓地久美代（安宅小）　吉田　　涼（荒屋小）
岸　　美喜（苗代小）　岸野亜樹子（蓮代寺小）
北川真由実（串小）　松下　礼子（東陵小）
北島　裕子（能美小）

C グループ

矢田亜希子（稚松小）　寺中　　茜（第一小）
白木　美紀（向本折小）　西方　仁美（日末小）
畦地　　恵（矢田野小）　西岡真紀子（月津小）
陣出　美保（那谷小）　永田　裕美（中海小）

D グループ

浜野　典子（芦城中）　濵谷　裕美（丸内中）
大塚美千代（松陽中）　唐木　幸子（御幸中）
山本　七重（南部中）　藤井　洋子（国府中）
林　真理恵（中海中）　徳永麻厘絵（安宅中）
田中　浩恵（板津中）　南　　浩子（松東みどり学園）

研修会 ～いまどきの子のやる気を引き出す関わり方～

講師 飯山 晄朗氏（人財教育家・メンタルコーチ）

開催日／令和３年７月１日（木）
場　所／小松市民センター

体験研修会

開催日／令和３年12月２日（木）
場　所／花嫁のれん館ほか

今年度の輝く心の学び委員会は、昨年に引き続きコロナ禍での１年となり、予定していた行事も感染症予防のため中止となることばかりでしたが、担当校長をはじめ、会長、役員の皆さまにご助言をいただきながら、何とか無事に終えることができました。

一時的にコロナの状況が落ち着いた７月に研修会、12月に体験研修会を行うことができました。

７月の研修会で、コロナ禍での子育ては家庭でのメンタルケアがとても大事だと感じ、人財教育家・メンタルコーチの飯山晄朗氏による「いまどきの子のやる気を引き出す関わり方」を講演していただきました。何気ない一言でも頭や心の中には深く残っている、それは大人になっても一緒だと思います。家庭で過ごす機会が多くなった今、前向きな言葉で子ども達や家庭の中を明るくできればといいなと思います。

一年間、本当にありがとうございました。

輝く心の学び委員会 委員長　北出　葵

輝く心の学び委員会　女性役員

・委員長　北出　葵（中海中）
・副委員長　谷中佐祐里（稚松小）
　江畑いずみ（東陵小）
・担当役員　宮崎　忍（御幸中）
　佐々木香子（芦城中）
　若山　弘子（芦城中）
　白石　知里（中海小）

令和３年度 小松市立学校PTA連合会 豊かな心を育む委員会

親子ふれあい体験

お皿、お茶碗に絵付け体験

アートにふれて、世界で一つだけの作品をつくろう！

開催日：令和３年８月29日（日）　場所：九谷セラミック・ラボラトリー

豊かな心を育む委員会 委員長　加藤　武敏

令和２年度は開催することができなかった親子ふれあい体験会を、8月29日に九谷セラミック・ラボラトリーにて開催することができました。今回の体験会は〝アートにふれて、世界で一つだけの作品をつくろう！〟をテーマにお皿やお茶碗に自由な発想で絵付けをしました。コロナ禍ですので、例年より小規模のイベントとなりましたが、とても充実した良い時間を過ごしていただけたのではないかと思います。密を避け、３回に分けての親子ふれあい体験会となりましたが、どの回でも参加された皆さんには、真剣な表情の中にも時々談笑が入り、楽しい時間のようでした。

体験会を終え、参加された皆さんの感想をお聞きしました。

「子どもと楽しい体験ができた、今度は家族で来たい」「久しぶりに２人の時間ができてとてもよかった」「今度はみんなでろくろをまわしたい」などいろいろ楽しかった思いを感じることができ、親子ふれあい体験会を開催できて本当によかったと思いました。

絵付けができた作品は後日焼き入れをしたので、皆さんのお手元に届いたのは１ヶ月後になりましたが、完成したオリジナルの作品を手に取り、ご家族で体験会のことを話題にするなど、もう一度楽しい会話ができたのではないかと思います。

次回の親子ふれあい体験会は、皆様からお聞きした感想やご意見を活かし、より一層充実した体験会にしたいと思います。この度はありがとうございました。

編集後記

新型コロナウイルスの猛威が続いています。デルタ株からオミクロン株へ・・・このウイルスは次々に変異しながら、地域や家庭、学校や職場に入り込み、我々の生活を脅かしています。

社会全体が閉塞感に包囲されているような状況ですが、このような中でも「出来ることは何か？」を考え、前向きに実行していくことが求められているのだと思います。

第６波の影響もあり、十分な広報委員会活動が行えない状況となりましたが、多くの方のご協力により、PTAだより第97号をお届けすることが出来ました。全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員長　田中　宏茂（犬丸小）

広報委員会
田中　宏茂（犬丸小）・杉山　広明（板津中）
濵口　淳也（稚松小）・釣川　久子（松東みどり）
山田　和則（向本折小）・桑名　謙輔（符津小）
竹田　大輔（能美小）・飴山　和朗（松陽中）
酒井　基樹（南部中）・小松　真也（安宅中）
小山　貴子（木場小学校校長）